



大阪府済生会千里病院
地域支援センター
地域医療連絡室だより

編集・発行
済生会千里病院 地域支援センター
地域医療連絡室
〒565-0862
吹田市津雲台 1-1-6
TEL 0120-115-031 (登録医専用)
FAX 06-6871-5915



平成 22 年度 登録医会秋季研修会並びに学術講演会開催

平成 22 年 9 月 11 日 (土) 15 時 30 分より、千里ライフサイエンスセンター5 階ライフホールにて「平成 22 年度 登録医会秋季研修会並びに学術講演会」が開催され、登録医 54 名、職員 46 名、その他合わせて 101 人にご出席いただき、盛会に終わりました。

○学術特別講演

「冠動脈疾患の制圧を目指した脂質異常症治療のトピックス」

大阪大学医学部附属病院 循環器内科病院教授 山下 静也先生



海外のスタチンを用いた臨床試験のメタ解析でも LDL-cholesterol (LDL-C) 低下により心疾患イベントが抑制されている。2 次予防患者を対象としたスタチンの大規模臨床試験からは、LDL-C を低下させる程イベントが抑制されている。また、最近ストロングスタチンを用いて LDL-C を低下させることにより、冠動脈の血管内超音波検査 (IVUS) での評価で、プラーク容積の減少を期待できることが国内外で報告されている。本講演では、脂質異常症の成因と診断法、脂質管理目標値、薬物治療と副作用について述べ、我が国や海外における脂質異常症の薬物治療の現状とその効果に関する成績を紹介する。また、LDL-C はどこまで下げるべきかについては、今もなお多くの議論があり、コレステロールレベルと総死亡率との関連性についても、なお誤解がある

ことから、この問題についても触れる。

ただし、LDL-C を十分に低下させても、冠動脈疾患の発症や再発を完全に防御できる訳ではなく、“Beyond LDL-cholesterol” の概念、即ち、LDL-C のレベルだけではなく、①低 HDL-cholesterol (HDL-C) 血症、②高トリグリセライド (TG) 血症、③炎症、④メタボリックシンドローム (MetS) などの高 LDL-C 血症以外のリスクに対する新たな、またテーラーメイドな治療戦略も重要と考えられる。冠動脈疾患の患者では低 HDL-C 血症の合併が多いが、HDL-C を増加させるには喫煙、運動不足、高 TG 血症、肥満・MetS 等を排除し、HDL を介したコレステロール逆転送系を活性化させる必要がある。一方、日本人でも食後も含む高 TG 血症が冠動脈疾患のリスクとなることが前向き調査で報告され、高 TG 血症の治療も重要である。



一方、MetS は動脈硬化の危険因子を複数集積する動脈硬化易発症状態であり、その脂質異常症の特徴は、①高 TG 血症と高アポ蛋白 B100 血症、②レムナントリポ蛋白の増加、③small dense LDL、④低 HDL-C 血症、⑤食後高脂血症である。MetS に合併する脂質異常症に対する治療は内臓脂肪を減らすカロリー制限、運動療法、飲酒制限であるが、内臓脂肪が減少しない場合や糖尿病、動脈硬化性疾患を有する場合は早期薬物治療の必要がある。

○学術講演

「肺がんの化学療法」～最近の話題～

済生会千里病院 呼吸器内科部長 船越 俊幹

登録医会の開催された9月11日は何の日でしょうか？これを9・11と置き換えるとわかると思いますが、今から9年まえの2001年9/11にはアメリカ同時多発テロ事件が起っています。この日に被害者の救出にむかった消防士・救急隊員などが430名亡くなっています。またこの日に全米431名の肺癌患者が死亡されています(全米人口は2億8000万人で、日本総人口は1億2000万人で日本ではこの日肺癌患者118名が亡くなっています)。アメリカでは肺癌の闘いは、毎日テロの戦いの継続であると啓蒙されています。



日本では肺癌の年間罹患数・死亡数は増加の一途をたどり、死亡数はtopになっています。特に最近是非喫煙者肺癌が増加しており、がん死亡原因の5位になっています。

今年の米国臨床腫瘍学会で主要演題4つが選ばれましたが、このうち2題は肺癌関係でした。1題は高齢者非小細胞肺癌の化学療法でした。今までは単剤投与が精一杯だろうとの見解でしたが、プラチナ製剤を含む2剤投与で生存の延長が示されました。またもう一題は、EML4-ALK融合遺伝子を持つ肺癌にたいするALK阻害剤の報告です。EML4-ALK融合遺伝子持つのは肺癌全体の7%前後ですが、この阻害剤の効果はかなり期待できるものでした。



また最近、分子標的薬としてEGFR-TKIの特性がより把握されて、遺伝子変化にて事前に効果が予測できるようになりました。非扁平上皮癌においては、抗VEGF抗体としてアバスチンが使用できるようになりました。さらに殺細胞効果薬としてpemetrexedという抗癌剤が、1st・2nd-lineやさらに維持療法としての効果を確認されるようになりました。このように肺癌領域において、テーラーメイド治療が進化しています。

最後に当科は日本呼吸器学会認定施設・日本呼吸器内視鏡学会認定施設に申請しており、来年度より認可される見込みです。今後も日々呼吸器臨床に邁進する所存ですので、なにとぞよろしくお願いいたします。

懇親会にも多数ご出席いただき有難うございました。

和やかな雰囲気の中で、登録医の先生方と当院の職員との間で、有意義な意見交換をする場となりました。

今後も先生方の忌憚のないご意見・要望をお伺いする場として開催してまいりたいと存じます。

今回ご参加いただけなかった先生方も、是非ご参加いただきますようお願いしております。



メタボ外来始めました

10月1日より、金曜・午後 糖尿病内科部長 鈴木正昭のメタボ外来がはじまりました。
地域医療連絡室よりご予約対応しますので、ご依頼ください。

院内健康講座 開催報告

済生会千里病院 東館3階 講堂にて、
9/4(土)14時～開催されました。

演題：前立腺がん検診

～平成22年4月から吹田市で前立腺がん検診がはじまりました～

演者：木内 利明 副院長

当日は52名の市民の方々にご参加いただきました。

院内健康講座 開催のご案内

日時：平成23年2月26日(土)14時～

場所：済生会千里病院 東館3階 講堂

演題：婦人科腹腔鏡下手術

～傷の小さな身体にやさしい手術～

(子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣のう腫など)

演者：産婦人科医長 武曾 博